

むつ市が誇る「アゲハチョウの夜景」

釜臥山展望台から見えるむつ市街の夜景は、その形から「ひかりのアゲハチョウ」と称されてきた。東北随一の夜景といわれるその景観は日本夜景遺産、日本夜景百選に選定され、高い評価を得ている。

特集

アゲハチョウが 飛び立つ姿は、 私たちの 幸せのかたちだ。

Mutsu Love Project

来年はぜひむつ市で 夜景サミット開催を

滞在型の観光資源としての「夜景」をどのように活用し、どのような成果を残し、地域活性化へ役立てているのか等、あらゆる情報を担当者レベルで共有し、官民一体・新たな商品開発も含めた地域活性化の実現を目指す「夜景サミット」。

(一社)夜景観光コンベンション・ビューローが開催・運営しているこのイベントは、毎年全国各地で開催され、大きな反響を呼んでいるといえます。

「夜景をひとつの商品にしたい。何年も前からそう考えていました。みなさんがアゲハの夜景を観に来ることで、当然宿泊することになるでしょうし、そうすれば街に賑わいが出ます。夜景サミットは、起爆剤になると思うんですよ。すべては少しでもむつ市の経済が良くなればいい、そういう思いです。」

むつ商工会議所副会頭で、夜景サミット2019 in むつ 実行委員会委員長でもある田中さんは、これまでも各地で開催されてきたサミットにおいて、ひかりのアゲハの魅力をプレゼンしてきました。

「むつ市の夜景は、愛好会の方々の中では有名なんです。次期開催地は、今年札幌で開催されるサミットで発表されます。ぜひ2019年はむつ市での開催を実現したい。」長年の思いは叶うのか。次期開催地の発表が楽しみです。

夜景サミット2019 in むつ 実行委員会
委員長 **田中常浩** さん



それは自然と都市が織りなす奇跡の姿

たとえば季節は変わって晩秋の静かな夜に、冬を運ぶ白鳥たちの目を通してむつを上空からとらえるならば、まちは一つの生命体のように見えます。アゲハチョウが今まさに飛び立つように、あるいはひとつひとつの煌めきが群れを成す営みのように。

下北の雄大な自然と人々の暮らす都市が織りなす奇跡の夜景は、長い時間をかけて、それらのせめぎ合いの結果としてまちなりの外縁を確立し、夜ともなれば「ひかりのアゲハ」として、いまや世界に誇る夜景となりました。

ひかりが失われてしまうということ

当然かのごとく押し寄せる人口減少の波。もし、ぼつりぼつりと消えていく暮らしのひかりを漫然と見過ごしたとき、私たちのアゲハチョウはきれいなその姿を失ってしまうかもしれません。私たちは、アゲハチョウのかたちそのものに「むつ市に暮らす大勢の方々は今夜も安心して生活している姿」を見えています。まちなりのひかりが失われるということ、それはこのまちなりの安心と笑顔が減少してしまうということ。

アゲハチョウが消えてはいけ

私たちは、アゲハチョウが変わらずに眩いひかりを放ち、飛び立つ姿に、このまちなりの幸せを重ね、将来にわたってこの光を保全していかなければなりません。

それは自然と都市が

織りなす奇跡の姿

ひかりが

失われてしまうということ

ない。そのために、これからの都市づくりは、厳しい社会情勢のなか都市経営コストを縮減し財政運営の適正化を図りながら、安心して暮らせるまちづくりを進め、魅力ある都市を目指す必要があります。魅力あるまちには、住みよいまちには、ひかりが点ります。魅力あるまちには、より多くのひかりが集まります。

むつの声を 日本、世界へ

むつ市長施政方針



1959年、大湊田名部市が発足し翌年むつ市が誕生。以来59年の間に17回の市長選挙が行われ、私も含め6人が市長職に就いています。半世紀を超える長い歴史の中で無投票は今回が初めて。市民の皆様の新しい選択を必ずや形にすべく、第17代むつ市長に就任させていただきます。

1票の重みを史上最多得票で知った1期目の当選。その期待の大きさを感じました。1票も獲得せずに当選した今回は、かえって、全ての市民の皆様に対する責任を感じています。

一人ひとりから、もう一度、信頼されるように。期待してもらえるように。託してもらえるように。そう行動することが求められていると感じています。

58,177人。有権者だけでなく子どもたちも含めて全世代の全市民の皆様に対する責任を果たすことが、この無投票という結果によって強く要求されていると肌で感じています。

将来に対する不安は閉塞感を生み、明日への展望を見えなくさせます。ただ、そこに一筋の光があるとすれば、市民の皆様の「声」が見いだす希望だと思っています。「声を形に」して、新しい希望を拓こう。新しい明日をつくろう。市民の皆様の声は、大きな力になります。

あるいは絶望的な声、切実な声の中にも私たちの希望があり、市民協働参画を前提とする政策を通じて形にすることで未来がつけられていく、そのようなむつ市を私は目指していきたい。

声を形に。

「笑顔かがやく希望のまち」へ。その飽くなき挑戦の開始を高らかに宣言し、議員の皆様、市民の皆様に、なお一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

第17代むつ市長

宮下 宗一郎